

観音堂沢流域

観音堂沢は、梨平集落のすぐそばで摺上川に合流する。支流としての規模はあまり大きくないが、上流部でいくつもの支沢を分ける。

この流域の沢の大きな特徴は、ナメが良く発達していることである。

観音堂沢本流をはじめ、地神沢、ユノムラ沢、クラツ沢など、ほとんど沢が全体に暗く、また規模がそれほどでないために、迫力という点ではやや欠けるくらいがある。しかし、摺上川流域の中では、それなりに楽しめる沢が集中する地域の一つである。

かつてこの沢ぞいには、七ヶ宿方面にぬけるルートがひらけ、観音堂



発行の地図をはじめ、ほとんどの地図に採用されている。しかし、地元ではこう呼ばない。叶堂と呼ぶ。

何故であろうか。答は簡単である。

国土地理院が最初に地図を作った時、「叶堂」を「観音堂」と間違えたからである。国土地理院は地名を決めるに当たっては、原則として地元での呼

観音堂という名前は、国土地理院